令和6年度 評価計画及び自己評価

(計画·中間(最終))

両城中学校区 校番 14 学校名 呉市立両城中学校

c 中期経営目標 を踏まえた現状 (進捗状況)と今年 度の重点 本中学校区では、二川教育プランの取組を充実させ、「主体的に学び、主体的に関わり、主体的に高まる生徒の育成」を目指している。教職員が、協働的に教科指導、生徒指導に取り組み、概ね落ち着いた環境の中で学習が行われ、基礎学力の定着については成果が出てきている。さらなる、主体的な学びの推進による学力の定着と向上、そして自己肯定感・自己有用感の向上が課題である。今年度も重点として、前者については「教えて考えさせる授業」を推進し、後者については、生徒会を中心とした生徒主体の学校づくりに取り組む。また、生活リズムを確立させる取組をPTAと協力して行い、規則正しく生活し、活力のある生徒の育成を推進する。また、防災教育の深化により、生徒の「自分の命は自分で守る力」を向上させ

育成を目指す資質・能力 〇知識・技能 〇思考力・判断力・表現力 〇主体性 評価計画(中期経営目標を設定してから 2 · (3) 年目) 自己評価 d 中期(3年 e 短期(今年 目標達成のための方 上半期 下半期 g 指標 重点 間) 度) 策 (効果を見とる目安) 目標値 k 評価 経営目標 経営目標 (こんなことをして達成します) 達成値 評価 達成度 達成度 達成値 家庭学習の指導 学力調査における通過率30% 5% 87.0% 92 В В 86.5% 91 基礎・基本 (目標時間:1年80分 未満の牛徒の割合 94.9% 100 の徹底 ~, 2年100分~, 3年 家庭学習を目標時間以上する 確 (貫) 75% 67.9% 91 В 66.7% 89 В 120分~) 生徒の割合 な 質問紙調査「授業で課題に対 主体的な学 学 し、主体的に考えて表現する活 びの推進によ 90% 85.8% 95 В 83.3% 93 В 力 思考力 判断 「教えて考えさせる授 動に取り組んでいる」の肯定的 る学力の定着 മ 業」の導入による「考え 評価の割合 力・表現力の向 と向上 向 る授業」づくりの推進 学力調査等の結果において全 53.3% Ω٩ Н 国平均を3.0ポイント以上上回る 60% 53.3% 89 В 50.7% 85 В 生徒の割合 59.2% 99 学校に行くのは楽しいと思う生 89.4% В 84.0% 93 В 90% 99 ・積極的な評価・情報発 徒の割合 自他のよさに 質問紙調査「自分にはよいとこ 気付き, 相手を 80% 75.2% В 70.1% В 貫 94 88 生徒主体の学校生活 ろがある」の肯定的評価の割合 曹 思いやる態度 づくりの推進 質問紙調査「自分のよさがまわ か の育成 自他を大切に マイスター制度の取組 りの人から認められている」の 80% 69.5% 87 В 71.5% 89 В な して共に高まり 肯定的評価の割合 心 合う生徒の育 の 目標達成に向 生活や体験の意欲付 成. ・質問紙調査「夢や目標に向け 育 け、気付き・考 けや振り返り の充実 て努力している」の肯定的評価 85% 83.7% 98 В 86.8% 102 Α 成 え・行動できる •積極的な生徒指導 の割合 生徒の育成 教育相談の充実 ・体育の授業の導入 ・質問紙調査「運動やスポーツ 体力の向上 時, 部活動等における 90% 81.6% 91 В 77.8% 86 В が好き」の肯定的評価の割合 体力を高める指導 質問紙調査「時間の三点固定 生徒 72.3% 90 В 70.8% 89 В を意識して行動し、生活リス、ムを 80% (貫 健 •生活改善指導 確立できている」の肯定的評価 保護者 ・保護者への情報発信 56.5% 87 В 56.8% 87 В 生活リズム 65% h 社会で生き抜 連携(携帯電話等の使 の確立 生徒 な くための体力と 用ルール[(PTA宣言]) 58.9% 84 В 59.0% 84 В ·質問紙調査(生徒·保護者)「P 70% 体 生活習慣の向 等) TA宣言を守っている」の肯定的 **ഗ** 保護者 評価 С 55.8% 86 В 49.6% 76 育 65% 成 本校と呉市の2回の防災 「自分の命は自 ・質問紙調査「いつも『自分の命 週間を中心とした防災に関 は自分で守る』ことを意識して 分で守る」防災 95% 91.4% 96 В 96.5% 102 Α する教科等横断的な取組 生活している」生徒の割合 教育の深化 生徒主体の防災の取組 生徒と向き合う ・生徒と向き合う時間が確保さ ・OJTによる業務の効率化 業 80% 84.6% 100% 106 Α 125 Α 教職員が自らの とP-D-C-Aの確実な実施 れていると感じる教員の割合 時間の確保 務 意欲と能力を発 改 長時間勤務 週1回の一斉退校日の徹底 時間外勤務が月45時間以内 揮できる教育環 53.6% 100% 58.8% 59 D 54 D 善 ・業務の精選と効率化 の教職員の割合 の削減 境の整備